2027
共通テスト
直前対策問題集
第１回

公共，倫理

100点／60分

Sample

第２問　「公共」の授業のまとめとして，生徒**A**の班は，「資本主義経済が変化する中で，現代の企業はどのような課題に対処するべきか」という課題を設定し，探究活動を行った。次の問い(**問１～４**)に答えよ。(配点　13)

問１　生徒**A**の班は「公共」の授業で，資本主義経済を分析した経済学説に関して，**先生の説明**を受けた。次の**先生の説明**中の下線部ⓐ～ⓒの記述と，それぞれに該当する後の著作の抜粋**ア**～**ウ**との組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

先生の説明

資本主義経済が成立したころには，企業などのⓐ自由な競争が，社会全体で資源の効率的な配分をもたらすと考えられていた。しかし，周期的に恐慌が起こるなどの矛盾があらわれると，政府が財政や金融を通じて市場に介入し，景気の調整をする必要があるという主張が生まれた。ところが，政府の介入はインフレーションなどの問題を生んだため，ⓑ政府や中央銀行は，裁量的な経済政策を行うべきではないという批判も広がった。

一方，短期的な景気調整だけでなく，長期的な経済成長も追求しなければならない。これに関して，ⓒ企業や企業家によって新しい動きが結合されることが，資本主義経済の発展に結び付くという考えが提唱されている。

Sample

ア

イ

ウ

Sample

① ⓐ―ア　ⓑ―イ　ⓒ―ウ　　② ⓐ―ア　ⓑ―ウ　ⓒ―イ
③ ⓐ―イ　ⓑ―ア　ⓒ―ウ　　④ ⓐ―イ　ⓑ―ウ　ⓒ―ア
⑤ ⓐ―ウ　ⓑ―ア　ⓒ―イ　　⑥ ⓐ―ウ　ⓑ―イ　ⓒ―ア

問２　生徒**A**の班は，現代の企業活動の中でICT（情報通信技術）産業が重要な分野であると考えて情報収集することにし，次の**図１**・**図２**を見つけた。

図１　日本のICT財・サービスの輸出入額推移

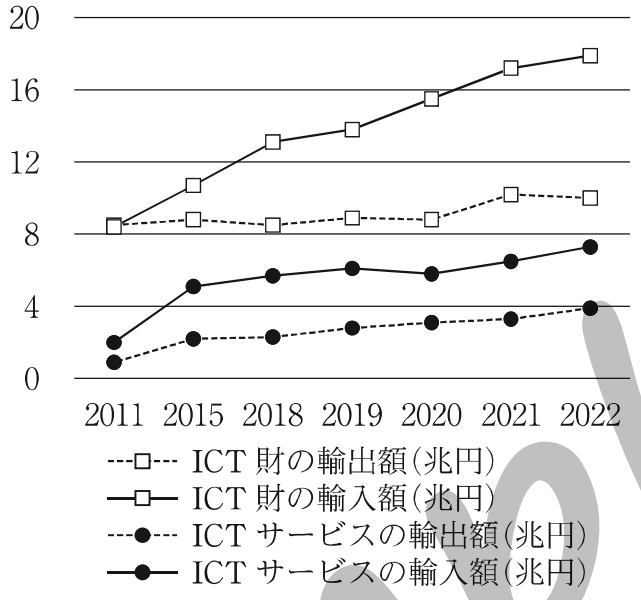
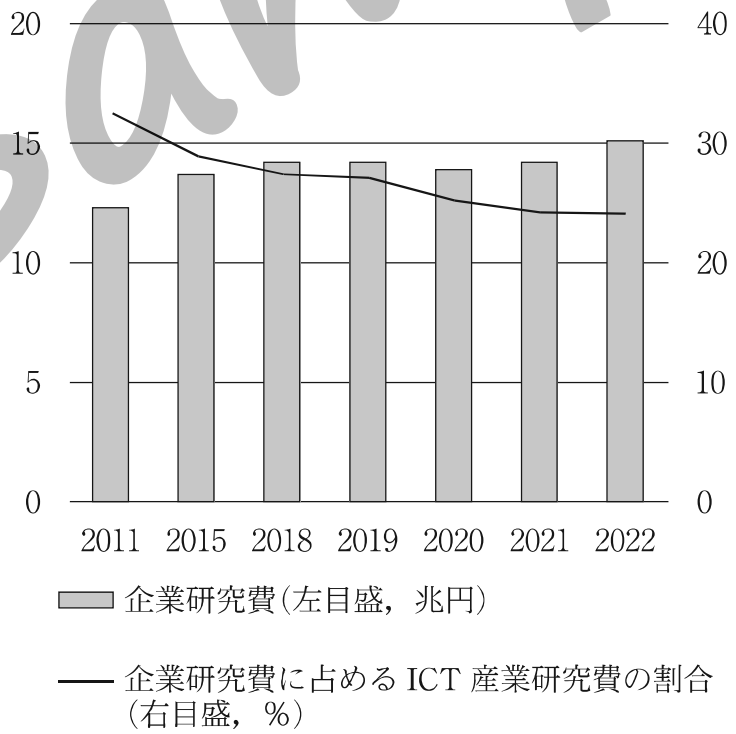


図２　企業研究費とICT産業研究費の推移



（出所）　総務省『情報通信白書　令和６年』2024年により作成。

Sample

生徒**A**の班は**図１・図２**を読み取った上で，意見を出し合った。次の意見**ア**～**ウ**のうち**図１・図２**を正しく読み取ったものの組合せとして最も適当なものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。なお，**図１・図２**の読取りに関する部分には下線を付している。 6

ア　ICT 財と ICT サービスの貿易額を見ると，どちらも2015年以降は輸入超過になっている。とくに，ICT 財の輸入超過額が年を追って急増しているのが目立つが，これはコンピューターやスマートフォンなどの ICT 機器の生産を海外に依存していることを示すのではないだろうか。

イ　輸出入を合計した貿易額では，ICT サービスの貿易額が ICT 財を上回っている。そして，この期間に，ICT サービスの輸出額が減少しているのは気になる動向だ。アプリやシステムの開発で，日本の競争力が弱くなっているのでなければ良いけれど。

ウ　企業研究費について，2011年と2022年を比較すると，増加していることが分かる。しかし，企業研究費に占める ICT 産業研究費の割合は，この期間に一貫して低下している。このことが，ICT 財・サービスの輸入への依存という問題の原因かもしれない。

①　**ア**　　②　**イ**　　③　**ウ**
④　**ア**と**イ**　　⑤　**ア**と**ウ**　　⑥　**イ**と**ウ**　　⑦　**ア**と**イ**と**ウ**

Sample

問3　現代のICT産業の発展などに注目した生徒**A**の班は，近代の技術革新の原点ともいえる科学革命や合理論・経験論について調べ，次の**ノート**を作成した。**ノート**中の空欄 **ア** ～ **ウ** に入るものの組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 **7**

ノート

17世紀に起こった自然科学の大きな変革を，科学革命と呼ぶ。例えば，**ア** は，天体の観測結果に基づき，地球が太陽の周囲を公転するという説を唱え，地球を中心に据える従来の説を否定して新たな天体理論を打ち立てた。また，ニュートンは，すべての質量あるものは互いに引力を及ぼし合うとする万有引力の法則について論じた。

このような自然科学の変革を受けて，ベーコンは，理性に基づく学問が，自然を支配して人間の生活を改善すると考えた。彼は，観察や実験によって得られた様々な事実を基にして，それらに共通する一般的法則を見つけ出す **イ** という方法を唱えた。同じく理性を重視したデカルトは，確かな知識を得るためにすべてのものを疑うという方法を取り，その結果，**ウ** ということが絶対に確実な真理であるという結論にたどり着いた。

Sample

①	**ア**　ダーウィン	**イ**　演繹法	**ウ**　われ思う，ゆえにわれあり
②	**ア**　ダーウィン	**イ**　演繹法	**ウ**　実存は本質に先立つ
③	**ア**　ダーウィン	**イ**　帰納法	**ウ**　われ思う，ゆえにわれあり
④	**ア**　ダーウィン	**イ**　帰納法	**ウ**　実存は本質に先立つ
⑤	**ア**　コペルニクス	**イ**　演繹法	**ウ**　われ思う，ゆえにわれあり
⑥	**ア**　コペルニクス	**イ**　演繹法	**ウ**　実存は本質に先立つ
⑦	**ア**　コペルニクス	**イ**　帰納法	**ウ**　われ思う，ゆえにわれあり
⑧	**ア**　コペルニクス	**イ**　帰納法	**ウ**　実存は本質に先立つ

（下 書 き 用 紙）

公共，倫理の試験問題は次に続く。

Sample

問4　最後に，先生は「皆さんが探究した現代の企業活動に関して，経済のグローバル化との関連を考えてみましょう」と指摘し，生徒**A**の班と話し合った。次の先生**T**と生徒**A**と生徒**B**の会話文を読み，会話文中の空欄［ア］～［ウ］に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［8］

T：経済のグローバル化が進み，企業も，国境を越えて活動するようになりました。そうなると，国民経済にとって不利益を生じさせるような動きが見られることもあります。これについて，何か具体例を知っていますか。

A：低賃金労働力や資源を利用するために，積極的に海外投資をする企業が見られます。その結果，［ア］という問題が生じて，国民経済の規模を縮小させてしまう恐れがあります。

T：その問題は，特に製造業で心配されていますね。情報通信産業では，何か問題が生じることはないでしょうか。

B：情報通信産業では，必ずしも需要が生じる国に事業所を置く必要がないので，**A**さんの指摘した［ア］という問題は起こりにくいかもしれません。しかし，インターネットを通じてアプリに課金するようなビジネスが広がると，［イ］という事態が生じる恐れもあります。最近は，このような問題点に対応するために，各国で法制度の整備が進められているようです。

T：国民経済にとっての不利益だけでなく，もっと広い分野で問題が起こる可能性はないでしょうか。

A：国内法による規制は，自国の主権の及ぶ範囲でしか行えません。だから，企業が［ウ］という問題が起こります。ただ，最近は機関投資家などが，このような問題を起こす企業には投資をしないという姿勢を見せることもあるようです。

Sample

a　海外で環境破壊や人権侵害を起こしても，国内法で規制するのが難しい
b　国内で利益をあげても，国内法人がないので法人税を課すのが難しい
c　海外に事業所や工場を移転させ，国内で産業の空洞化を招いてしまう

① ア — **a**　イ — **b**　ウ — **c**
② ア — **a**　イ — **c**　ウ — **b**
③ ア — **b**　イ — **a**　ウ — **c**
④ ア — **b**　イ — **c**　ウ — **a**
⑤ ア — **c**　イ — **a**　ウ — **b**
⑥ ア — **c**　イ — **b**　ウ — **a**

Sample

第６問　次の生徒**H**と生徒**J**の会話を読み，後の問い(**問１～７**)に答えよ。
（配点　22）

H：ちょっと聞いてくれる？　昨日，祖父と話していて若い頃観た映画の話になったんだけど，それを素材にして私たちのような ⓐ若い世代の特徴が話題になったんだ。

J：どんな映画？

H：ジェームズ・ディーンという俳優の主演作で「理由なき反抗」という映画なんだ。この作品は，1950年代半ば，裕福な家庭に育った高校生が，ものわかりはいいけれど親としての権威を失ってしまった父親と，自分の価値観で子供の人生を方向づけようとする母親に対して苛立ちを覚えて，自暴自棄へと走る様子がえがかれているらしい。

J：「理由なき反抗」かあ。親との間で様々な ⓑ葛藤を経験したり，親から自立したいという欲求をもったりするのは，その映画の主人公だけに限らないよね。かくいう私にも，思い当たる節があるよ。もっといえば，ⓒ自由というものを履き違えて，勝手気ままに考えたり行動したりするということだってあったし。

H：でも，そういう状況って，考えようによっては，若者にとって重要な意味をもっているかもしれない。最初は，葛藤や自立の欲求の荒波に飲み込まれそうになるけど，そのうちに，反抗している自分を客観的に見つめようと努力するようになることもあるはずだ。それによって，自分が直面している ⓓ課題を解決することが可能になるんじゃないかな。

J：なるほどね。それに，自分を客観的に見つめ直すことを通じて，自分の ⓔ個性をしっかり確立することができるようになるかもしれない。

H：そして，そういうことを通じて，他者や社会に対する ⓕ責任の観念を徐々に形づくっていくことができるようになるかもしれない。

J：話をしていて気がついたんだけど，課題の解決とか，個性の確立とか，責任の観念の形成といったことって，何も私たちのような若い世代だけに言えることじゃないよね。ちょっと大袈裟な言い方をすると，人間という存在は ⓖ感情や道徳性など様々な要素とかかわりをもっていて，それらと向き合うなかで試行錯誤を繰り返しながら成長していくと思うんだ。

H：そうだ，せっかくだから，今度，祖父ともそういう話をしてみようかな。祖父も，祖父なりの「理由なき反抗」をしたはずだし，それを通じて人間としての成長を経験したはずだから。

Sample

問1　下線部ⓐに関連して，青年をめぐる考察を行った人物についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 26

① エリクソンは，青年期は社会で自立するための準備期間であるとともに，社会が青年に許容している役割実験の時期であると説いた。

② レヴィンは，青年を，心理的離乳を成し遂げて完全に大人になりきった存在として捉え，これを境界人(マージナル・マン)と定義した。

③ アリエスは，自由な精神に基づいて独特な文化を創造する遊びの中に青年の特質を見いだし，青年を遊戯人(ホモ・ルーデンス)と定義した。

④ マーガレット・ミードは，不適応行動や反抗など，いわゆる青年期特有の現象が，歴史や地域にかかわりなく共通して見られると説いた。

Sample

問２　下線部ⓑに関連して，次の**ア**・**イ**は，葛藤や欲求不満に直面して無意識のうちに心の安定を取り戻そうとして働く防衛機制についての記述であるが，それぞれに該当する防衛機制の種類は何か。その組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 27

ア　希望する会社には入社できないと分かったとき，「あの社風は，きっと自分には合わない」と理由づけし，自らの行動を正当化した。

イ　学校で親しくなりたいと思っている相手から話しかけられたときに，その気もちとは裏腹に，思わず冷淡な対応に終始してしまった。

①　**ア**　合理化　　**イ**　反動形成
②　**ア**　合理化　　**イ**　同一視
③　**ア**　昇　華　　**イ**　反動形成
④　**ア**　昇　華　　**イ**　同一視

Sample

問 3　下線部ⓒに関連して，生徒 **J** は図書館で次の**資料**を見付け，生徒**H**と後の会話を交わした。会話中の **a** ・ **b** に入る語句・記述の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 28

資料

Sample

J：この**資料**は，フロムが著した『自由からの逃走』から引用したものなんだけど，フロムについてどんなことを知っている？

H：授業で習ったことの受け売りだけど，確かこういうことだったと思う。フロムは独自の社会心理学説に基づいて，ドイツのファシズムであるナチズムを支えた人々の社会的な性格を分析し，それを **a** という言葉で表したんだよね。

J：この**資料**では **b** ということが述べられているけど，今**H**が言ったことと関係がありそうだね。

① **a**　権威主義的性格

b　自由は個人が自分の外部にあるどのような力にも従属することのない社会が実現することで勝利するが，そのためには個人主義の広がりを食い止める必要がある

② **a**　権威主義的性格

b　近代人は伝統的権威から解放されて自由を獲得したが，その一方でみずからの自我を根本的に危険にさらすような新たな束縛に進んで服するようにもなった

③ **a**　伝統志向型

b　自由は個人が自分の外部にあるどのような力にも従属することのない社会が実現することで勝利するが，そのためには個人主義の広がりを食い止める必要がある

④ **a**　伝統志向型

b　近代人は伝統的権威から解放されて自由を獲得したが，その一方でみずからの自我を根本的に危険にさらすような新たな束縛に進んで服するようにもなった

Sample

問 4　下線部ⓓに関連して，次の**ア・イ**は，課題を解決するための手法についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 29

ア　定められた手順に従って問題を解決していく方法としてヒューリスティックがある。これは，手間がかかる反面，手順を正しく踏むことにより妥当な判断を行うことができるという特徴をもつ。

イ　正しいとされる複数の前提から論理的に結論を導き出す推論として帰納的推論がある。このタイプの推論は，複数の前提が全て正しければ，必ず正しい結論を得ることができるところに特徴がある。

① **ア**　正　　**イ**　正
② **ア**　正　　**イ**　誤
③ **ア**　誤　　**イ**　正
④ **ア**　誤　　**イ**　誤

Sample

問５　下線部ⓔに関連して，生徒 **J** は，パーソナリティを理解する際のアプローチについて，次の**ノート**にまとめた。**ノート**中の **a** ・ **b** に入る語句・人名の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。
30

ノート

パーソナリティについて理解する際に用いられるアプローチに特性論と類型論がある。特性論はパーソナリティをいくつかの性格特性の組合せによって理解しようとするもので，その代表的なアプローチとして神経症傾向，開放性などの因子によってとらえる **a** がある。また，類型論はパーソナリティを生物学的要因や心理的要因による特徴をもとにいくつかの類型に分けて理解しようとするもので，**b** は理論型・経済型・審美型など重視する価値観に基づく六つの類型に分類した。

① **a**　メタ認知　　**b**　シュプランガー
② **a**　メタ認知　　**b**　ギリガン
③ **a**　ビッグ・ファイブ　　**b**　シュプランガー
④ **a**　ビッグ・ファイブ　　**b**　ギリガン

Sample

問6　下線部ⓕに関連して，次の会話は，生徒**H**と先生が「責任」について考えた思想家をめぐって交わしたものである。会話に出てくる各思想家についての説明として**適当でないもの**を，会話中の下線部①～④のうちから一つ選べ。

31

先生：「責任」について考えた思想家を授業で紹介したことを覚えていますか？

H：ノートにメモしたことを覚えています。間違いがあるかもしれませんが，ノートには，①ラッセルは，世界の科学者とともに，核兵器の禁止と平和に対する科学者の社会的責任を唱えたとか，②シュヴァイツァーは，あらゆる生物の生命を価値あるものとして尊ぶことが倫理的存在としての人間の責任だと説いたと書かれています。

先生：他の人物も取り上げましたよね。メモは残っていますか？

H：はい。③サルトルは，他者は「私」と同化し得ない絶対的な他性をもつ存在であり，「私」がその重みを思い知るとき，「私」に他者を受け入れる倫理的な責任が生ずると説いたというメモや，④丸山真男は，戦前・戦中の日本の超国家主義に「無責任の体系」を見いだし，自由と責任を内面化した自己を確立することが戦後の課題であると主張したというメモがあります。

先生：よくメモできていますが，一つだけ間違いがありましたよ。

Sample

問７　下線部ⓖに関連して，次の**ア**～**ウ**は，人間の感情・道徳性・認知能力について考察した人物に関する記述である。適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 32

ア　エクマンは，人間は，怒り・嫌悪・恐れ・喜び・悲しみ・驚きといった，生まれつき備わり普遍的に経験される基本的感情を有しているとした。

イ　マズローは，人間の道徳性は，義務や法律などを意識する以前の「前慣習的水準」から始まり，最終的には，自分自身の良心や正義の基準によって判断する「脱慣習的水準」へと発達していくと主張した。

ウ　ピアジェは，子どもの認知能力の発達段階について論じ，児童期になると多くの視点から物事を捉えることが可能になるとして，こうした過程を脱中心化と呼んだ。

①　**ア**　　②　**イ**　　③　**ウ**　　④　**ア**と**イ**
⑤　**ア**と**ウ**　　⑥　**イ**と**ウ**　　⑦　**ア**と**イ**と**ウ**

Sample

MEMO

Sample

2027
共通テスト
直前対策問題集

第１回

公共，倫理

Sample

第１回 公共，倫理 チェックシート

解答科目欄	
地理総合，地理探究	○
歴史総合，日本史探究	○
歴史総合，世界史探究	○
公　共　，　倫　理	●
公共，政治・経済	○

解答番号	解答欄 1	2	3	4	5	6	7	8	9	配点	解答番号	解答欄 1	2	3	4	5	6	7	8	9	配点	解答番号	解答欄 1	2	3	4	5	6	7	8	9	配点
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	14	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	27	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3
2	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	15	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	28	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3
3	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	16	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	29	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	4
4	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	17	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	30	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3
5	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	18	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	4	31	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3
6	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	3	19	①	②	③	④	⑤	●	⑦	⑧	⑨	3	32	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	3
7	①	②	③	④	⑤	⑥	●	⑧	⑨	3	20	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	33	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
8	①	②	③	④	⑤	●	⑦	⑧	⑨	4	21	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	4	34	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
9	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	22	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	35	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
10	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	23	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	36	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
11	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	24	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	37	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
12	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	25	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	38	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
13	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	3	26	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	3	39	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	

Sample

【解答・採点基準】

（60分　100点満点）

問題番号（配点）	設問	解答番号	正解	配点	自己採点
第1問（12）	問1	1	③	3	
	問2(1)	2	①	3	
	問2(2)	3	④	3	
	問3	4	①	3	
第1問　自己採点小計					
第2問（13）	問1	5	③	3	
	問2	6	⑤	3	
	問3	7	⑦	3	
	問4	8	⑥	4	
第2問　自己採点小計					
第3問（18）	問1	9	④	3	
	問2	10	②	3	
	問3	11	③	3	
	問4	12	③	3	
	問5	13	⑤	3	
	問6	14	①	3	
第3問　自己採点小計					
第4問（16）	問1	15	①	3	
	問2	16	③	3	
	問3	17	④	3	
	問4	18	②	4	
	問5	19	⑥	3	
第4問　自己採点小計					
第5問（19）	問1	20	③	3	
	問2	21	②	4	
	問3	22	③	3	
	問4	23	④	3	
	問5	24	④	3	
	問6	25	①	3	
第5問　自己採点小計					

問題番号（配点）	設問	解答番号	正解	配点	自己採点
第6問（22）	問1	26	①	3	
	問2	27	①	3	
	問3	28	②	3	
	問4	29	④	4	
	問5	30	③	3	
	問6	31	③	3	
	問7	32	⑤	3	
第6問　自己採点小計					
自己採点合計					

Sample

第２問　経済分野総合

問１　5　③

ア：フリードマンである。資料文は，フリードマン『資本主義と自由』（村井章子訳，日経 BP，2008年）から引用した。**フリードマン**は**マネタリズム**の立場から，政府や中央銀行の役割を，物価安定のために通貨供給量をコントロールすることにとどめるべきだと主張した。そして，**ケインズ**の提唱したような裁量的財

Sample

政・金融政策を批判し，市場を重視する**新自由主義**的な「**小さな政府**」の理論的な裏付けとなった。したがって，下線部ⓑに当たる。

イ：アダム・スミスである。資料文は，アダム・スミス『国富論(上)』(高哲男訳，講談社，2020年)から引用した。**アダム・スミス**は古典派の経済学者で，市場を通じて需要量と供給量が自動的に調整される仕組みを，「**見えざる手**」と呼んで明らかにした。資料文では，超過供給が生じると価格が下落し，需要量が増加して需給の均衡がもたらされることを説明している。したがって，下線部ⓐに当たる。

ウ：シュンペーターである。資料文は，シュンペーター『資本主義，社会主義，民主主義Ⅰ』(大野一訳，日経BP，2016年)から引用した。**シュンペーター**は，資本主義発展の原動力として，**イノベーション**の重要性を指摘した。イノベーションは技術革新と訳されることもあるが，「技術」にとどまるものではなく，資料文にあるような「新しい消費財，新しい生産・輸送方式，新しい市場，新しい産業組織形態」など幅広い分野の**新結合**によってもたらされる動きである。したがって，下線部ⓒに当たる。

以上のことから，③が正解となる。

問2　6　⑤

ア：正文である。**図1**ではICT財もサービスも，2015年以降は輸入額のグラフが輸出額のグラフの上にあり，輸入超過であることが分かる。ICT財にはパソコン，携帯電話などの通信機器，集積回路などの電子部品，テレビ，ラジオなどが含まれている。これらの機器や部品の需要は増え続けているが，その生産を海外に依存しているため，輸入額が増加して輸入超過額も急増している。また，ICTサービスには固定・移動電気通信サービス，放送サービス，ソフトウェア業，新聞・出版などが含まれ，とくにソフトウェアに当たる情報システム，プラットフォーム，アプリなどの多くは海外企業が開発・運営していて，代金や使用料の支払いが必要なので，輸入超過になっている。

イ：誤文である。**図1**では輸出入とも，ICT財がサービスを上回っているので，「ICTサービスの貿易額がICT財を上回っている」という読取りは誤っている。また，ICTサービスの輸出額は一貫して増加しているので，「ICTサービスの輸出額が減少している」という読取りは誤っている。

ウ：正文である。**図2**で企業研究費は若干の増減があるものの，2011年と2022年を比較すると2022年の方がかなり多く，増加傾向にあることが明らかである。一方，ICT産業研究費の割合を示すグラフは一貫して右下がりである。このように研究開発投資が十分でないことは，日本のICT産業の国際競争力低下の一因と考えられ，**図1**に見られるICT財・サービスの輸入超過に関連している可能性がある。

以上のことから，**ア**と**ウ**を正文とする⑤が正解となる。

問3　7　⑦

ア：コペルニクスが入る。**コペルニクス**は，それまで有力だった**天動説**(地球は宇宙の中心に静止し，太陽や月といった他の天体が地球の周囲を回るとする説)を覆して**地動説**(地球は他の惑星と同様，太陽の周囲を公転するという説)を唱えた。正解でない**ダーウィン**は，『種の起源』を著して**生物進化論**を唱えたことで知られる。

イ：帰納法が入る。**帰納法**は，**ベーコン**が正しい学問の方法として重視し，個々の具体的な事実や経験から，一般的な法則や原理を導き出すという方法論である。正解でない**演繹法**は**デカルト**が唱えたことで知られ，確実な一般的法則や原理から出発し，推論を通じて結論を導き出すという方法論である。

ウ：「われ思う，ゆえにわれあり」が入る。**デカルト**は，確かな知識を得るためにすべての事柄を疑ってみたが(**方法的懐疑**)，その中で疑うことのできないのは，疑っている私(われ)が存在しているということだと考え，それを「**われ思う，ゆえにわれあり**(私は考える，それゆえに私はある)」という言葉で表した。「**実存は本質に先立つ**」は，実存主義の思想家**サルトル**の言葉である。

問4　8　⑥

ア：空欄の前後の「積極的に海外投資をする企業」と「国民経済の規模を縮小させてしまう恐れ」という言葉から，**産業の空洞化**を表す記述**c**が入ることが分かる。

イ：先生の「情報通信産業では，何か問題が生じることはないでしょうか」という問いと，空欄の前の「インターネットを通じてアプリに課金するようなビジネス」という言葉から，記述**b**が入ることが分かる。ICT(情報通信技術)企業の場合，必ずしも需要が生じる国に事業所を置く必要がなく，インターネットを通じてサービスを提供し，代金を受け取ることができる。通常の法人税は事業所の住所地で課されるので，このような場合には課税が難しい。近年，このよ

Sample

うな企業活動に対して，利益の源泉となる活動が行われている国で課税できるように，制度の検討が進められている。

ウ：先生の「国民経済にとっての不利益だけでなく，もっと広い分野で問題が起こる可能性はないでしょうか」という問いや，空欄の後の「最近は機関投資家などが，このような問題を起こす企業には投資をしない」という言葉から，記述 **a** が入ることが分かる。企業の海外活動に対して，その企業の本社のある国の法で規制することは難しい。しかし，投資家や消費者などのステークホルダー(利害関係者)が監視することによって，環境破壊や人権侵害の抑止力となりうる。例えば **ESG 投資**(環境・社会・企業統治に配慮した投資)を推進したり，問題のある商品の不買運動を行ったりする動きが，実際に見られる。このため，海外進出企業や投資家は，問題点を事前に調査する手続き(**デューデリジェンス**)を重要と考えるようになっている。

以上のことから，⑥が正解となる。

Sample

第６問　現代の倫理的課題と心理学説

問１　26　①

エリクソンは，青年期における最大の発達課題を**アイデンティティ**(**自我同一性**)**の確立**に置いた。そして，青年期を社会で自立するための準備期間と捉え，それを**心理・社会的モラトリアム**(猶予期間)と呼んだ。エリクソンによれば，青年期は，社会が青年に許容している**役割実験**の時期でもあり，試行錯誤的に様々な役割実験に挑むことができるよう，成人としての責任や義務が猶予される。

②「完全に大人になりきった存在」という説明は誤り。**レヴィン**は，大人への移行の時期にある青年を，子どもと大人のいずれの集団にも安定した帰属意識をもてない存在(まだ大人になりきれていない存在)として捉え，これを**境界人**(**周辺人**，**マージナル・マン**)と呼んだ。③「遊戯人(ホモ・ルーデンス)」という定義は，「アリエス」ではなく「ホイジンガ」によるもの。**ホイジンガ**は，自由な精神に基づいて高度な文化を創造する「遊び」の中に人間の特質を見いだし，人間を**遊戯人**(**ホモ・ルーデンス**)と定義した(この定義は「青年」に限定されない)。なお，**アリエス**は，『子どもの誕生』を著し，中世のヨーロッパにおいては，子どもは「小さな大人」と見なされ，現代とは異なって大人とともに早くから労働することが期待されていた，ということを指摘した歴史学者である。④「青年期特有の現象が，歴史や地域にかかわりなく共通して見られる」という説明は誤り。**マーガレット・ミード**は，サモアなどの南太平洋の島々における調査を通じて，いわゆる未開社会の若者にはヨーロッパやアメリカの文明社会の若者に見られるような青年期特有の現象がほとんど認められない，と報告したことで知られる。ミードによるこの報告は，青年期特有の現象は普遍性をもつものではないことを示すものであった。

問２　27　①

ア：「合理化」についての記述である。**防衛機制**の一つである**合理化**は，もっともらしい理屈をつけて不安や緊張を解消しようとする無意識の働きのことである。なお，**昇華**(防衛機制の一つ)とは，実現できない欲求を，社会的に価値の認められる他の欲求に置き換えることをいう。

イ：「反動形成」についての記述である。防衛機制に数えられる**反動形成**とは，抑圧された感情とは逆の態度を表面に出して，ことさらに強調する無意識の働きのことである。なお，**同一視**(防衛機制の一つ)とは，他者がもつ長所・特性を自分のものとして取り入れることをいう。

問３　28　②

資料は，フロム『自由からの逃走』(日高六郎訳，東京創元社，1965年)から引用した。

a：①と②の**a**が入る。**フロム**は，ドイツのファシズム(ナチズム)は，自由に伴う責任の重さなどに耐え切れず権威的な組織や人物に迎合し，強制的な画一化の中に逃避する人々によって支えられていたと論じた。そして，このような人々が示した社会的性格を**権威主義的性格**(**権威主義的パーソナリティ**)と呼んだ。③と④の**a**は入らない。「伝統志向型」は，**リースマン**が『**孤独な群衆**』において示した社会的な性格類型の一つである。リースマンは，人々の社会的な性格類型を三つに分類したことで知られる。その三つとは，因習などの固定的・伝統的な価値体系に従って行動する**伝統指向型**，幼児期に親によって植えつけられた内面的規範を指針として行動する**内部指向型**，同時代の他者の動向に細心の注意を払い，それをみずからの行動の指針とする**他人指向型**(**外部指向型**)である。これらの性格類型は，欧米社会の発展の歴史という観点から見れば，それぞれ伝統社会(前近代社会)，近代社会，現代の大衆社会にほぼ対応している。

b：②と④の**b**が入る。**資料**の第１文と第２文の内容に注目することで，これらが適当であると判断することができる。また，これらに続く第３文において「自由はそれ自身のダイナミックな運動法則にしたがい，自由の反対物に転換しようとする一つの危機に到達した」と述べられていることにも注目しよう。①と③の**b**は入らない。前半は**資料**の第５文の内容から判断して適当であるが，後半は**資料**の第４文の内容から判断して不適当である。

問４　29　④

ア：誤文。「ヒューリスティック」ではなく，**アルゴリズム**についての説明である。**ヒューリスティック**は，簡略化された解決手順を用いて問題を解決しようとする手法のことで，経験則や直観的な判断に基づくという点で，決められた手順に従って問題を解決していく手法(アルゴリズム)と対比される。

イ：誤文。「帰納的推論」ではなく，**演繹的推論**についての説明である。**帰納的推論**は，複数の具体的な事例から経験的に結論を導き出そうとするものである。その特徴の一つは，具体的な事例が事実であったとしても，そこから導き出される結論が必ずしも正し

Sample

いわけでないということにある。

問5 30 ③

a：③と④の**a**が入る。**ビッグ・ファイブ**は，**特性論**の代表的なアプローチで，パーソナリティを，神経症傾向・外向性・開放性・調和性(協調性)・誠実性という五つの特性によって捉えようとするものである(ここから，**5因子モデル**とも呼ばれる)。①と②の**a**は入らない。**メタ認知**とは，自分の思考や記憶などの状態を認識することをいう。

b：①と③の**b**が入る。**シュプランガー**は，**類型論**を代表する人物の一人で，人生においてどのような価値を重視するかによって，パーソナリティを**理論型・経済型・審美型・社会型・権力型・宗教型**の六つに類型化したことで知られる。②と④の**b**は入らない。**ギリガン**は，道徳性の発達における男女の違いを研究することを通じて，正義中心の倫理では見失われがちな他者への配慮や傷つきやすい他者への応答責任を中心とする倫理(**ケアの倫理**)の重要性を指摘したことで知られる。

問6 31 ③

「サルトル」ではなく「レヴィナス」の思想を想定した記述となっている。**レヴィナス**は，他者は「私」とは同化し得ない絶対的な**他性**をもつ存在であり，「私」が他者の重みを思い知ることが，倫理の出発点となると説いた。なお，サルトルは，自己のあり方を選び取るという行動は，自己の責任において選択することであると同時に，他者や全人類に対しても責任を負うことであると主張したことで知られる。

①②④は，いずれも適当な記述である。

問7 32 ⑤

ア：適当。**エクマン**によれば，人間には生まれつき，怒り・嫌悪・恐れ・喜び・悲しみ・驚きといった感情が備わっている。こうした，生まれつき備わり普遍的に経験される感情は**基本感情**と呼ばれる。これに対し，嫉妬，罪悪感，恥など，他者の存在や他者の自分に対する目を意識することにより経験されるような感情は，**自己意識的感情**と呼ばれる。

イ：不適当。「マズロー」ではなく，**コールバーグ**に関する記述である。**コールバーグ**によれば，人間の道徳性は，**前慣習的水準**から始まり，**慣習的水準**へ，さらには**脱慣習的水準**へと発達する。前慣習的水準とは義務や法律などの社会的ルールを意識する以前の段階，慣習的水準とは社会的ルールを遵守することに価値を置く段階をそれぞれさす。そして，脱慣習的水準とは，既存の社会的ルールそのものを問い直し，自分の良心や正義の基準などによって判断する段階をさす。**マズロー**は，人間の欲求を5段階の階層構造として捉え，低次の欲求がある程度満たされないと高次の欲求が生じないと説いたことで知られる(**欲求階層説**)。その5段階とは，低次のものから順に，生理的欲求，安全の欲求，所属と愛の欲求，自尊の欲求(承認の欲求)，自己実現の欲求である。

ウ：適当。**ピアジェ**によれば，乳幼児期の子どもは，他者の視点からものごとを捉えることができず，自分自身の立場からものごとを捉える傾向がある(**自己中心性**)。しかし，児童期になると，自分の視点を離れて(他者の視点を身につけて)抽象的な思考ができるようになり，自己中心性を脱するようになる(**脱中心化**)。

Sample